

第4回

(仮称)多可町生涯学習センター建設基本計画

策定検討委員会

会議録

《要約版》

事務局 多可町生涯学習課

■会議の経過

| | |
|--|--|
| <p>次第 1</p> <p>(事務局)</p> | <p>開会</p> <p>オンライン含め 14 名の委員が出席。</p> |
| <p>次第 2</p> <p>(B副委員長)</p> <p>(事務局)</p> | <p>あいさつ</p> <p>建設基本計画の検討委員会ですけれども、箱物といわれる施設や設備を作って終わりと思うのですが、ここに落とし穴があります。ハードを作っても将来的に宝の持ち腐れというような経験を私もしています。命を吹き込む、いわゆるハードに対するソフトの部分が、運営とか組織とかいうことだと思えます。</p> <p>この検討委員会でハードだけの検討が目的ではありません。ソフト、運営によって有効に活用できる方策や対策を提言することも、一番大事で特に期待されています。このハードものが、2倍・3倍の効果を生むように、本日はソフトについても検討をお願いしたいと思います。</p> <p>その予備資料として、本日の報告にもありますが、子どもたち、高校生、中学生の意見や、プレゼンテーション等各種団体のご意見もいただくため、それらも含めて総合的に方策等に反映できればと思います。</p> <p>今日、オンラインとなっておりますが、こういう新しい手法も平時でも活用していくことも、この生涯学習センターの機能にも付け加えることも大事だと私は思っています。本日は昼間になりますけど、お時間いただき、ご検討の方よろしく願いいたします。</p> <p>緊急事態宣言に伴う日程変更について報告。</p> <p>第5回検討委員会を10月13日(水)八千代プラザで、第6回検討委員会を10月28日(木)図書館会議室で実施します。本日の報告事項を含め、今まで入れていただいた知識の中から、あと2回で計画に盛り込んでいくべき意見をお願いいたします。</p> |
| <p>次第 3</p> <p>(委員長)</p> <p>(事務局)</p> <p>(A委員)</p> | <p>委員によるプレゼンテーション</p> <p>ご出席いただきまして本当にありがとうございます。</p> <p>前回、公募委員のプレゼンをいただきました。今日は団体選出委員のそれぞれの団体からの思い、要望をプレゼン願います。限られた時間でお叱りを受けるのは承知ですが、後日の委員会やグループワークでも申しただければと思います。</p> <p>今回は団体の委員にプレゼンテーションで考えを語っていただきます。1人5分程度でお願いします。</p> <p>(要約)</p> <p>教育委員としての意見、要望、利活用方法ですが、皆で一緒に話をして取りまとめる時間が取れなかったため、各委員の個人的意見で出たものを報告します。</p> <p>生涯学習センターとは子どもたちが学ぶところ、生涯自分が学ぶところ、住民はいつも学んでいるという姿が理想的だと思います。誰かと一緒に学べる、そこへ行ってさえ自分が一歩大きくなれるという施設が必要。学びの拠点として、人口に見</p> |

合ったもので、全世代の人々が活動しやすく、高齢者に優しいセンター、職員が働きやすい施設となると図書館がセンターの核になると思います。

しかし、現在の図書館は8年前から仮住まいであり、利用者数が平成30年あたりからかなり減っており、30代以下の世代減少が見られます。また、平成21年に西脇市のMiraieが供用開始になってからの減少が著しいです。現在の図書館では住民のニーズを満たすのは無理があると思います。図書館は町民の教養や文化の発展を担い、生涯学習にも欠かせない施設だと思います。

ここからは教育委員会の委員の方々の個人的な意見です。委員会の意見というふうには捉えないでいただきたいと思います。

- ・多可町図書館の利用者減少等の課題にも十分に踏まえた上で議論が必要。
- ・未来へのステップになるようにしてほしい。
- ・箱物だけを作って、とならぬように。
- ・全世代が利用できるような施設であってほしい。
- ・いろいろな施設との相互利用などを考えてください。
- ・展示スペースや舞台、バルディーホールのように大きなものではなく、発表の場も必要。
- ・SDGsの視点を大切にしてほしい。
- ・中学生の読書時間、図書館利用が少ないので、利用しやすい環境。例えば、先ほど学校統合の話がありましたが、そういったときのバス通学の際の登下校の待ち時間活用などを整備して欲しい。
- ・読書や学習に合った静かな空間だけではなく、子どもや幼児を持つ親にも配慮した開放的な空間や学習スペースも欲しい。
- ・カフェや飲食スペースも、Wi-Fi環境も整備してほしい。
- ・中学生サミットでの中学生の意見を生かしてほしい。
- ・どこに作ろうとも、特に施設への交通網の整備が重要になってくる。
- ・少子高齢化と人口減少も並行して考えてもらいたい。
- ・ないよりあるほうがいいのに決まっているが、利用区と維持管理をどうするか。
- ・新しい図書館で読書通帳を発行できたらいい。全国で読書図書館利用を急増させたシステム。
- ・個人用の勉強室をつくる。1人で行くのが苦手な子や学校に行きにくい子などが人目を気にせずに調べ物をしに来る環境があればいいと思います。5から8室ほどあれば、予約制で時間制限をつくる等

話は少し変わりますが、令和元年10月に滋賀県で近畿市町村教育委員会研修大会があり、滋賀県近江八幡市の桐原コミュニティエリアへ視察研修に行きました。のどかな田園風景の中にできた新しい施設です。小学校、コミュニティセンター、こどもの家(学童保育)からなる複合施設で、学区の防災拠点施設の機能も備え、有事の際に学区内、住民の1割、約1,700人にあたる住民が3日間、学校施設を活用して、避難生活が送れる施設でした。水は学校のプールの水を、飲料と生活用水確保のためカートリッジ式浄水装置を設備、太陽光発電設備、非常用発電設備、食料等を貯蔵する防災拠点にもなっていました。地域の方々がボランティアで運営する、きりっこ食堂や、カフェの金曜茶屋も設けられていました。

多可町でも、地域の学校教育のあり方を考える会も開催され、学校統廃合の波もすぐ近くまで来ています。学校統廃合との連携も視野に入れて、考えてみてはと思

います。廃校の跡地活用の話もちらほら耳にしますが、跡地活用も大切だとは思いますが、今回はちょっと土俵が違うと思うところもあります。

最後になりますが、7月31日に多可町サミット、中学生ワークショップがありました。兵庫県立大学の竹内先生が「10年後にはこんな社会にしましょう」と2018年に総務省がビデオを作成している。それがまだ3年しかたっていないのに、コロナ禍で一気に進みほぼ実現している。自動運転、ドローンでの薬剤散布、遠隔医療、AIによる音声認識、スマートレジ、自動コンビニ、コンタクトレンズスクリーン、バーチャルリアリティーなど沢山あります。時代も生活も学びのスタイルも大きく変わっていく、いかなければならないと言っておられました。先程の個人的な意見のところでも出ておりましたが、中学生サミットでの中学生の意見を生かして欲しいと思います。

(B委員)

(要約)

多可町婦人会の三役の意見をお伝えします。

役場とかアスパルなどで賄い切れない女性向けの講座、身障者用トイレ、電子書籍の充実、子供も含め学習できるスペース、地球・環境に優しい杉原紙や播州織など、地産地消を感じられるづくり、あるいはコーナー、誰でも入りやすいバイアフリーな建物などが欲しいという意見が出ました。婦人層が気晴らし、リフレッシュできるような気楽に集える場所があれば嬉しいです。多可町婦人会の活性化のための調理実習を、充実した調理器具がそろった調理室で行いたい。会議室および研修室は、役員会や観賞会、また、講習会や講演会に活用したいです。

視察研修で行った福崎町立図書館のように、子どもの本と大人の本を分けて、子どもの本棚が低く整理されているのはいいな、と思いました。それと図書館後援会の組織やボランティアでしっかりと活動されていて素晴らしいと思いました。

(C委員)

(要約)

最初に、自己紹介をさせていただきます。私は大阪府で生まれ育ちました。小さいときは団地・マンション、隙間なく隣接する住宅、土の道など無く、コンクリートとアスファルトばかりの道。街路樹や公園の木は、移植された外国の木ばかりでした。この生まれ育った自分のまちな好きなのですが、ただ子どもながらに「自然って何なんだろう」とずっと思っていました。ある日、友達と自転車に乗って探検に出かけました。学校区・峠を越えて、その先に見えたのは開発されずに残っていた田園風景でした。これが僕の思う自然だ、私の好きな多可町の風景とそっくりでした。そのころから田舎での暮らしにずっと憧れて、仕事に林業を選択して、12年前に多可町に妻と当時2歳の長女と3人で移住してきました。いわゆるIターン組です。そして現在、中学校で長女がお世話になり、小学校で長男・次女がお世話になっています。私も小学校の副会長として選考していただき、PTA協議会として皆さんと顔を合わせています。

PTA協議会は、コロナ禍のため各会長に電話で意見や要望を募りました。

1つ目、生涯学習センター建設計画について意外と知らない方が多かったです。工事が始まってから気付く人が多いような状態で、皆が本当に望むセンターになるのか、という意見が出ました。

2つ目、中学校統合の問題、その次は小学校の問題。これらの問題解決なしにして複合施設の話はあり得ないという厳しい意見もいただきました。建設場所はアス

パルの付近かも、と伝えましたが、この会議と並行して行われている色々な会議同士の横の連絡やつながりが充分にあって、リアルタイムに意見交換されているのか、とも言われました、決して大人だけの都合で強行突破しないで、箱物を作らないで欲しい。作るなら本当に利用価値があって、皆がハッピーになれる複合施設を建設して欲しい、という声をいただきました。

P T A協議会からの要望としては、西脇市 Miraie のような複合施設なら良いな、という意見がありました。建設場所は未来の中学校・小学校の近くにあって、学校帰りや長期休みに子どもたちが学習できて、赤ちゃんからお年寄りまでの各世代が利用できて、安く利用しやすい仕組みの複合施設なら是非建設して欲しい。そして、3区の住民がアクセスしやすいよう、3区を結ぶループバスやループ福祉の充実などを行って、これからの多可町になっていったら良い、という結論に至りました。皆さんの意見だと思って、これからの会議に生かしていきたいと思えます。

(D委員)

(要約)

多可町社会福祉協議会です。社会福祉協議会は拠点施設を4つ持っています。加美支部では、主にデイサービスを中心にして相談業務にあたり、グループホームもそこに併設しています。加美区の郵便局隣に訪問介護の介護ステーションを持っています。八千代プラザの1室で八千代区の支援を必要とする方を、それぞれの場所へ繋ぐ支援をしています。もう1つが、多可町図書館の南側半分を中支部、本部と呼んでいます。そのような形態で活動しています。

いただいた資料で、色々な生涯学習センターの中身について目を通していましたが、社会福祉協議会関連、例えば高齢者福祉の「高齢者」という言葉は1つ、2つ見つけることができましたが、そういう分野は生涯学習センター的な施設の中にはあまり入っていないのだ、と改めて思いました。

お年寄りに対する支援については、中支部中心に行っています。中支部がある建物から図書館機能がなくなって、新しい生涯学習センターの中で中心施設になったときに、現在の建物の半分を使ってこれから先も事業を展開していくのか。これを機会に生涯学習という広い意味で捉えて、中心機能がどこかに持てるのか。あるいは違う場所、個人的にはアスパル内に入れていただいて、拠点施設を変えて、新しい見方で進んでいくのか。このまま図書館機能がなくなって、建物の半分に人の出入りがなくなると老朽化は目に見えて進んでいきます。そんな中で、現在の業務を続けていくのは大変です。この場で検討していただくのではなく、町行政との相談にはなりますが、社協としてはそれが一番の関心事となっています。

それから、高齢者の方も気軽に集えること。若い未来ある子どもたち、小さい子どもたちが気軽に寄れるのは大事なことで当然ですが、そこにお年寄りもどんどん入ってこられるという、お年寄りにも優しい施設づくりを希望します。もしかすると多可町社協がその拠点になれば、という思いも込めてお話をいたしました。

(E委員)

(要約)

社会教育委員ですが、今日は子育てふれあいセンターの団体としてお話しします。子育てふれあいセンターは旧中町幼稚園のところで、就学前の子どもがおられる家庭を支援しております。近くにはアスパル、春には満開の桜、夏には町民プールや親水公園、噴水公園などで水遊びができたり、秋にはドングリ拾いとか落ち葉遊びができたりと、季節を感じながら、体験を通して五感を育てるのには本当に素晴ら

しい場所で、物的環境や自然環境に恵まれた場所で子育て支援ができていいるのを実感しています。また、地域共生社会づくりのため「コークラボ」ができたことによって、地域の方々と出会い・触れ合いの場となるような仕掛けづくり、例えばマルシェ、七夕や餅つき、節分などの季節の行事を一緒に取り組むことを通して、人的環境においても豊かな場所になる、と期待を膨らませています。

私たち子育て支援者は、子育てに関する相談業務はもちろん、子育てを1人で抱え込まないようにするために、子育て家庭同士を繋げたり、子育て家庭と地域を繋げたりするのが、大事な役割の1つと考えております。そこで、子育てふれあいセンターの近くに生涯学習センターができたならば、先にも述べたような交流事業に積極的に取り組みながら、人と人をつなげる一翼を担っていききたい、と思っております。

生涯学習センターの利活用を具体的に考えてみました。例えば1つ目は、一人暮らしの高齢者の方にセンターへお越しいただいて、親子と触れ合い遊びをしたりとか、一緒に昼食を食べたりするような多世代交流です。次に、現在子育てふれあいセンターでは小中学校や高等学校と連携しながら、命の授業・保育学習・育児体験などの授業を通して次世代育成に携わっているのですが、学年は固定で、1回限りの単発的なものです。そこで、小中高生、誰でも自由に親子と関わったり、小さな命に触れることで、そこから何か気付きや学びがあるような、そんな機会を定期的に設けられるような取り組みです。前者は、一人暮らしの高齢者と親子を繋げるために送迎して下さる方や食事を作って下さる方の協力が必要となります。後者は、児童館との提携によって、より充実した取り組みになると思われます。人と人を繋げ、そこに関わる人たちが心豊かに育ち合い、学び合える場を作り出すには、様々な関係機関や住民の方々が連携し、やりたいというものを実現していけるような組織づくり・ネットワークづくりが必要になります。子育てふれあいセンターも、ぜひその組織の一員として、さまざまな世代・立場・環境におかれた人たちの橋渡しができるよう取り組んでいけたら、と思います。

話は少し変わりますが、子育てふれあいセンターは就学前の子どもがいる家庭を支援するところなので、就学前の子どもいないご家庭に関しては、小学生の利用ができません。しかし、遊び慣れてきた場所なので、小学生になっても遊びに来られる親御さんや、夏休みに町民プールに行った帰りに遊びに来る小学生などがたまにおられます。大変に申し訳ないのですが、お断りをしているので、小学生の居場所となるようなところがこの近くにあったら良いと思っています。

現在、町内には0歳から18歳の子どもを対象とした児童館が、中区と加美区にあります。特に中区の児童館においては建物がとても老朽化しております。生涯学習センター建設を機に、小・中・高生が集える場所として、児童館を盛り込んだ施設にしてはどうかと思います。「子育てするなら多可町」を主要施策として掲げ、子育てふれあいセンターでは、新しい遊具の導入や修繕によって利用しやすい施設へとなっています。児童館においても、もっと施設設備を整えて、乳幼児期から学童期にかけて、全ての子どもたちが豊かに育つ環境を整えることが大切だと思います。もし今の子育てふれあいセンターが老朽し、使えないという状態になったときには、児童館と子育てが一体化した運営も可能になります。そのようなことも踏まえて、今後を見据えた施設となることを希望いたします。

(F委員)

老人会としては、組織での検討はしておりません。話が出るのは、やはり小さい

| | |
|-------------------------|--|
| | <p>子どもと触れ合う機会がないので、そういう機会をつくって欲しい、という話を聞きます。具体的にはどういう方法がいいとか、生涯学習センターを有効活用するのはどうか、という話は突き詰めていませんが、近く話をしていきたいと思っています。</p> <p>(G委員)</p> <p>文化連盟としては、まだ話し合いをしたことはないです。色々な行事がつぶれたりして、運営の話ばかりです。個人的に知り合いの方に、この委員会に参加していると言ったとき、箱物には反対で、費用や少子高齢化の中でやっていけるのかを非常に心配されていました。</p> <p>そして現在、八千代プラザに図書館があり、加美区にも図書館がありますが、そこがすごく使いやすくて日常的に行っている、とのことで、もし中区に大きな生涯学習センターができたとしても、自分たちにはどれだけ参加できるか、どれだけ関わられるか、という点を心配されておりました。だから、もし施設ができたとしても、今のプラザにある図書館は是非残して欲しい、と言われていました。私もそう思いますね。小さい子どもたちも活用しているようですので、大きい施設と考え方は別ですが、是非とも残して欲しいと思います。</p> <p>(委員長)</p> <p>それぞれに素晴らしいプレゼン、ありがとうございました。</p> <p>団体の意見を集約したものではない、という意見もありましたが、ほぼ団体から持ってきていただいたのではないかと、思います。出された意見を整理して、なんとか事務局と共に1つ1つ見ていきたいと思えます。</p> <p>その中で、現在の稲荷コミセンの建物から図書館が抜けたらどうするか、という話。これは町全体のビジョンになりますし、町の社協のあり方、それから福祉施策の拠点づくりをどうしていくのか、になりますから、ここだけでは収め切れませんが、そういう課題を抱えていることを明らかにしていただきました。</p> <p>教育委員会の意見としてSDGsも出ておりました。既に持続可能な地域づくりを各分野で取り組んでおり、人口減少社会において、将来の人口規模に見合った施設ということになります。人口減少社会の中で多可町住民が幸せに暮らせるにはどうしたらいいのかな、ということは、ここだけではなく町全体で考えていく。一翼の拠点としての当センターになりますから、やっぱり時間が必要だと思いました。</p> <p>それから、図書館基本計画を図書館協議会で検討いただいています。例えば基幹の図書館と2つの分室の在り方についても検討されていますので、その辺りの情報を共有していくことが大事だと思いました。</p> <p>児童館との機能も併せ持つことについても意見をいただきました。特に耳に残っているのは中学生とか高校生のそういう思い、これからこの町を背負っていく世代の人たちの意見を大事にして欲しい、ということ。事務局で整理をしまして、再確認していきたいと思えます。</p> |
| <p>次第4</p> <p>(事務局)</p> | <p>報告事項</p> <p>まず資料1です。7月30日に県立多可高校で高校生とのワークショップを行いました。コロナ禍のため大勢でお邪魔できないため、委員長・副委員長含め、4名の委員に同席いただきました。</p> <p>(資料1に基づき説明：省略)</p> |

資料2です。翌日7月31日、加美中学校かみ ing ホールで多可町サミット、中学生ワークショップ参加しました。委員長・副委員長含め、3名の委員に同席いただきました。複数の議題のうち、最初にセンターの計画を説明し、中学生から自由に意見を出してもらおうというスタイルで進めていただきました。

(資料2に基づき説明：省略)

資料3です。役場に生涯学習推進本部会議があります。多可町の生涯学習に関する施策を計画、立案する組織と位置付けておりまして、庁内各課の代表委員で組織しています。毎年、生涯学習に関する議題を検討していますが、今年度はセンターに関する事、特に役場の行政ニーズとして求める内容で議論しました。

(資料3に基づき説明：省略)

資料4になりますが、生涯学習に関するアンケート調査を行いました。総合計画の後期計画のアンケートに、生涯学習に関する項目も追加をしていただきました。平成25年のセンター計画時に調査しましたが、それと同様の調査内容としています。

(資料4に基づき説明：省略)

以上、今までの色々な取り組み、調査の報告です。

ここまでの内容で質問・不明点ございますか。

(H委員)

「地域の中でリーダーを育成する」ことは、とても大事な事だと思います。一番多くアンケートの数字で出ているので、私も非常に共感しますが、どういうジャンルの人を育てていくのかに具体的に踏み込んで、どういう人が地域で欲しいのかについて、どこかの機会で皆様に一度聞いてみたいと思いました。

い

(I委員)

前の委員さんが言われたとおり、将来を見据えて、どういったリーダーが必要とされているのか、は本当に大事なところだと思っています。若い人だけではなくて、大先輩方の意見も聞きたいと思います。その上で将来を見据えて、というところを落とし込んでいけたら良い、と感じました。

(事務局)

地域の中でリーダー的な存在という話に関しては、色々な形のリーダーがいらっしゃると思います。生涯学習課の取り組みとしては、地域の中で会議を運営していただくための講座、あるいは女性の中で活躍をしていただくためのウィメンズの講座といったものに取り組みながら、少しでも底上げしていけるような施策に取り組んでいます。

委員長の方でも、リーダーではないかもしれませんが、地域で活躍する人材育成、という意味で色々なお取り組みをいただいております。手法は色々なことを考えていかなければなりません、そういうようなことで底上げも狙っていきたいと思っております。

(委員長)

アンケートの結果の中で、地域の中のリーダー像は実際どういうことを求めているのか、具体的にもう少し踏み込んで確認したい、という意見もありました。確かにそのとおりで、既にリーダーは沢山おられます。しかし、「集落のつながり

| | |
|--------------------------------------|---|
| | <p>を強くする」が 34.6%あります。私に関わる地域共生社会推進協議会の小学校区単位で開いているコークゼミ自体が、地域でのリーダー養成、地域を基盤とするケアを推進するリーダーを養成する講座ですが、いずれの講座でも入口はできますが出口ができないのが現実です。だから、集落とのつながりを強くする、というのは、どうやれば集落のつながりが強くなるのか。これは制度的に、集落の抱えている課題でもあります。</p> <p>あるいは生涯学習講座の中で、さまざまな分野で女性の活躍できる講座を組んで、それぞれに自立をし、意識改革が図れたとしても、そういう人材、リーダー的な人が集落の中で活動できるのか、っていったら現実にはできません、今のところ。やはり制度的な壁があります。そういうのをどうやって打ち破っていくのか、ってというのは、これはSDGsそのものの課題でもあります。</p> <p>全部つながっていますので、そういうことを深めていける拠点。だから単に箱物を作るのではなく、そういうことが深めていける施設が今求められているのが、このアンケートの結果ではないかと思います。たぶん5年前も同じように、皆さんは求めていたのだと思うのですね。その5年間のこの数字共々もう一度見直して、それから5年先・10年先、この町をどう持続させていくのか、ということを抑えていかなければならない、というふうにこのデータを読みました。この辺りについては、今後またグループワークの中で皆さんのご意見を確認させていただきたい、と思います。</p> <p>次に、運営事例について事務局の方からお願いします。</p> |
| <p>次第5</p> <p>(事務局)</p> <p>(委員長)</p> | <p>議事(1) 運営事例について</p> <p>前回の検討委員会で、次の議題として運営手法についても検討いただきたい、と申し上げました。建設基本計画を策定する委員会ですので、運営については施設ができた後のことになりますが、できた後のイメージを持ちながら検討を深めていただきたい、ということで調査をさせていただきました。</p> <p>最近聞かれる言葉でPPPという言葉があります。パブリック・プライベート・パートナーシップということで、公民連携とか官民連携という言葉の略語です。行政と民間企業や地域住民などが協力して公共サービスを提供する、このような方法を総称して、こういうふうと呼んでいます。前回、各委員さんのプレゼンの中にも官民連携がもっと進んだら、というようなキーワードもいただきましたが、今回運営事例としまして指定管理制度、施設整備としましてPFIなどの話をさせていただきます。</p> <p>(資料5に基づき説明：省略)</p> <p>事務局の方から説明いただきました。運営につきましては今後、5回・6回の委員会でさらに高めていきたいと思います。</p> |
| <p>次第6</p> <p>(委員長)</p> | <p>議事(2) 第5回検討委員会へ向けて(意見交換)</p> <p>今日ここまでで感想がありましたら、お願いします。</p> |

| | |
|-------|---|
| (J委員) | <p>2つ思うことがあります。</p> <p>1つはアンケートです。本当に生涯学習センターという箱物を作らなければ、作りたいのか、についてのアンケートを実際にとって欲しい、ということが本音です。</p> <p>第2点目は、P F Iは経済的な規模に合わないとのことでしたが、現在P F Iの流れとしては、住民を巻き込むようなソフト的な面に力が入っているという話を聞きます。最終的にはP F I手法でないとしても、専門業者が色々なところで図書館を作っているの、話を聞いてみたいです。</p> |
| (K委員) | <p>先の委員の意見と似ていますが、生涯学習センターの検討委員会が現在動いていること自体を知らない地域の方が結構いらっしゃいます。そこに不安感があったり、私が委員で来ていること自体に何か後ろめたさがあったりします。これが本音の部分ですが、私はセンターを作る方に賛成です。</p> <p>図書館に関して少し不安な点あります。8月の新聞で、50万人の入場者達成で花束や薬玉が割れていましたが、17年かかりました。隣の西脇市Miraieを見ると、2年で100万人です。もちろんMiraieは図書館だけではなく、色々な施設ありますが、三木市の図書館の貸出密度は兵庫県で1番、次が加東市。市別のため多可町の貸出密度はランキングになかったですが、あまり良いようなこと聞きません。本当に図書館は必要なのですかと再度投げかけたい。</p> <p>それと本は現在冊子で出ていますが、ほとんどデジタル化して今後2～3年すると、冊子ではなくなっていきます。漫画や小説でも、私だったら冊子で買わずにデジタルで買う。本を棚に置く必要がなくて、パソコンに置いておくだけで非常に便利です。そういう対応もできる図書館でなければならないです。例えば読書であれば、本を読んでいた時代から本を見る時代になって、本を聞く時代が変わっていく。そういった先を見た図書館であれば、中学生とか高校生が書いている、希望に合ったような図書館なるのかな、と思いました。</p> |
| (委員長) | <p>それぞれの意見ありがとうございました。</p> <p>図書館機能について色々意見をいただきましたが、図書館から何かありませんか。</p> |
| (図書館) | <p>図書館です。7月28日に17年目で約50万人なので、平均で1日100人程度のお客さまが来ていただいています。この小さい町で1日100人程度は、かなりの人数の方がご利用いただいていると思います。</p> <p>今、図書館協議会でも色々検討しています。箱物ができて一番大事なのは、どうやって地域の関連施設や関係者と一緒になって図書館・生涯学習センターを利用してもらえるような仕組みが作れるかという点なので、今後はソフトの方にも力を入れていきたいと考えております。</p> |
| (委員長) | <p>ありがとうございます。貸出冊数のランキングは人口規模で分けられていますから、多可町のように人口規模の小さい中でのランキングと、加東市・小野市・三木市のような人口規模でのランキングは、同じ土俵ではありません。それから、数値的には確かに減少しています。現実に図書館の建物を見てもらったら分かりますが、ずっと雨漏りしています。そういう施設の中で図書館があるという</p> |

こともご理解いただけたらと思います。それから事務局の中でPFIについても情報を集めていただくように、お願いしておきます。

(L委員)

子供たちのアンケートから何点か。学習室は静かな方が良い、というのが昔は普通だったのですが、子どもたちの意見で、学習室が静か過ぎるとありました。よく考えたら我々も受験生のときは、ラジオの深夜放送を聞きながら勉強していました。同じように、静か過ぎる学習室も雰囲気がないのか、とも思います。少しでも音楽が流れている、そんな部屋も良いのでは、と思いました。

それから資料の3の生涯学習推進本部に関して、第3の防災拠点となり得る機能を持った施設、ということで、第1・第2として役場・ベルディーホールがあげられています。この中には調理室がないため、生涯学習センターにおいては、調理室がある第3の防災センターとなるのが望ましい、と思います。併せて、駐車場に下水管を通して、その上にマンホールトイレという設備を置けば、車で避難してきた方の利用が確かになるため、そういったものを考える必要があると思いました。

アンケート調査では、子供の教育や子育て支援、家庭教育支援に関するものが非常に少ない点が気になりました。「子育てするなら多可町」と言っていますので、この辺りに理解がある施策的なことを前もってやっておかないといけないと思います。講座、健康、スポーツ等が多い結果が残っていますが、アンケートの取り方が少し違うのではないかと感じました。

パソコンやインターネットなどの情報通信技術に関するものが、26.2%と結構あります。Society5.0の社会に向けて10%以上伸びています。前回に対して、ここだけが10%の伸びしろがあり、これからの時代、そういった機能を生涯学習センターで持つ必要があるのでは、と思いました。

それからアンケートの中で「初心者向けの教室・講座・行事の充実」とありますが、「初心者向け」の定義は何だろうか、と考えました。専門的な職員や指導者の配置は非常に分かるのですが、これからの住民の立場としては、自らが作っていく、町づくりに関わっていく、というようなスタンスで教育していかなければ、多可町は持たないだろう、と考えました。

あとは、「社会教育施設の機能の充実を図る」とありますが、この「機能」は何を指しているのか。例えば、文化・体育・人権・子育て・児童館・男女共同、こういうものも含めての機能なのか、それとも機械的な機能なのか。これも質問の仕方が悪いと思います。

最後に、施設の建て方の関連です。デザインビルド方式と記載がありますが、将来的にプロポーザルを考えているのか。もしくはプロポーザルを行わず、一般入札や総合評価落札といった形でやられるのか。その辺りのことも少しお聞かせ願いたかったです。山中湖の図書館のことが書いてありますが、この図書館は表向き非常に良いですが、勤める方にとっては非常に厳しいという、生活が成り立たないような安い給料でもって使っています。それから、6時間2交代制の勤務で11時間半の勤務です。だから9時半から21時まで図書館は開いており、24時間貸し出しができるシステムを持っています。それは職員対応、民間だからそういうことをしなければならないのですが、非常に職員の待遇が悪い。ただ、館長が非常に優秀な方で、無償という形でやられています。民間になった場合には、そこで働く人のことを考えなければ、非常に厳しいということがありますので、

| | |
|-------------------------|---|
| | <p>表面だけでは判断できませんが、そういった内容も少し調べていく必要があると思いました。</p> <p>(委員長) 副委員長からも感想をお願いします。</p> <p>(B副委員長) 感想といいましても、このアンケートの質問項目についても、1つの指標としての参考に、と思います。色々な民間方式、指定管理等がありますけど、結局はどう評価・検証をしていくかが大事です。実態ほとんどは任せっ放しで、形式上はきちっとルールによって、民間運営も指定管理もしっかり契約という形です。しかしどこが行うかになってきます。こういうものを建てると設置要項・設置条例・施設管理条例となります。要は何々委員会が行います。形だけの委員会ではどうしようもないです。例えば公民館は法律が変わって運営審議会がなくなりました。実際は、公民館の運営審議会がなくなって、社会教育委員会になりました。</p> <p>だから私が思うのは、この提案・提言をするときには、第三者・チェックする人、それから共に考える人が必要です。委員会としては生涯学習推進協議会がありますが、しっかりとした権限を持っていません。民間や任意の機関で権限のない委員会なので、横の連携や各種団体から意見をもらっています。それでは、次に行けないのです。</p> <p>だから提言を行うならば、いわゆるPDCAのチェック機関を運営の中で作って、作った以上は権限を持たせてあげる。第三者の目で民間であれ指定管理であれ、チェック・評価ができる権限を持った委員会を、直営とは別に付けた方が良いと思います。民間に渡したら安くなりました、でも働く人が辞めたくて仕方がない、病気になる。誰が契約したのか、では、結局、契約者の責任になってしまいます。だから十分に評価できる機関を、提言して欲しいと思っています。</p> |
| <p>次第7</p> <p>(委員長)</p> | <p>閉会</p> <p>副委員長からのPDCAチェックの件、PDCAの中にはC・チェックも入っていますが、大事なことだと思います。</p> <p>最後になりますが、何回もMiraieが出てきますが、西脇市がどういうプロセスで図書館を作ったかと言いますと、市長が議会に、市の公用地を利用するために複合施設の図書館をつくりたい、と言った。議会で了解を取り付けた上で、図書館フォーラムを開いた場で報告をされて、図書館協議会は1回か2回、それも昼間開いて終わりです。そういう非常に簡略なプロセスの中で、Miraieが決定しています。この町で8年前に提言した内容自体がMiraie、プラス小ホールというプランでした。Miraieは施設的に見たら、8年前に我々が提案した、そのものです。そういうプロセスの施設がいいのか、こういう形で何回も集まって意見を集約して、侃々諤々とやる町が良いのか。私はこういう町の方が良いと思います。今日も沢山の意見をいただいています。これをまとめるのは大変で、フィードバックしても、そんなことは「あかん」と言われそうな気がしますが、そこにへこまないように、また皆さんと議論を深めていけたら、と思います。</p> <p>そして、今日も本当に素晴らしいプレゼンをいただきました。各種団体から出ている以上は、取りまとめたとき、いかに各種団体の皆さんにフィード</p> |

バックできるか、ということで、単に代表者だけが町長に提言するのではなく、何らかの形で、代表委員も含め各所属の団体の何人かでも一堂に集まってもらって、こういう形で、皆さん集まってもらって報告をしたいと思います。最終的にもう一度意見を求めたいという場があれば、先ほど色々言われているように、いつ、どこで、誰がこんなことを決めたのか、そんなの知らなかった、ということが無いように、今後取り組んでいきたいと思います。それには皆さんを、大変な目に遭わせて、何回集まれと言われるのか、ということになりますが、私たちの施設を作るということでご理解をいただきまして、今日は終わりたいと思います。

ありがとうございました。
